

教 育 長 様

代表者 校 園 名： 滝川小学校 公印  
 校 園 長 名： 民辻 善昭  
 電 話： 6351-1582 FAX： 6351-5502  
 申請者 校 園 名： 阿倍野小学校  
 職 名・名 前： 教諭・木村 拓也  
 電 話： 6622-0526 FAX： 6622-9041  
 代表者校 園 事 務 職 員 名： 立木 みどり

## 平成 29 年度 「がんばる先生支援」グループ研究 報告書

◇ 平成 29 年度「がんばる先生支援」グループ研究について、次のとおり報告します。

1 研究コース： いずれかを○で囲んでください。
グループ研究 A コース ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">グループ研究 B コース</span>
いずれかを○で囲んでください。 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新規研究 (1 年目)</span> 継続研究 : ( 2 年目 3 年目 )
2 研究テーマ
自然に働きかけ、見出した問いを他者と関わり合いながら、科学的に解決していく子どもの育成
◆ 研究内容のキーワード：研究の内容をキーワードで書いてください。 (【例】学力向上、体力向上等)
理科教育、学力向上、教員の資質向上、新学習指導要領、主体的・協働的な問題解決活動、対話的な学び、指導方法の改善、研修会の実施
3 研究目的：箇条書きで端的に書いてください。
○ 新学習指導要領に対応した理科学習指導法の研究に取り組む。市理科部が従来より取り組んできた、子どもが主体的・協働的に問題を解決していく学習を基盤に、特に「対話的な学び」の学習場面を充実させた授業実践により、理科の学力向上を図る。
○ 各種研修会、公開授業、研究報告、討議会を行い、大阪市小学校教員の資質向上と理科指導力向上を図る。
4 取り組んだ研究内容：いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。
○ 子どもが主体的・協働的に問題を解決していく学習を基盤に、特に「対話的な学び」の学習場面を充実させた理科学習指導法の研究に取り組み、理科授業の改善を図った。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5, 6 月……授業改善のための具体的方策を 4 項目設定</li> <li>・ 7～10 月……理科授業の改善を具現化するための指導案作成</li> <li>・ 10 月 30 日……プレ授業実施〔西天満小学校〕</li> <li>・ 11 月 10 日……プレ授業実施〔平野西小学校〕</li> <li>・ 11 月 15 日……公開授業・討議会実施〔会場：平野西小学校〕 参加者 29 名 第 6 学年「発電と電気の利用」</li> <li>・ 11～1 月……理科授業の改善を具現化するための指導案作成</li> <li>・ 12 月 11 日……プレ授業実施〔大空小学校〕</li> <li>・ 12 月 14 日……プレ授業実施〔新平野西小学校〕</li> <li>・ 1 月 23 日……プレ授業実施〔平野西小学校〕</li> <li>・ 1 月 29 日……プレ授業実施〔滝川小学校〕</li> <li>・ 2 月 2 日……公開授業・研究発表・討議会・講演会実施〔会場：滝川小学校〕 参加者 331 名 第 4 学年「水のすがた」、第 5 学年「電磁石のはたらき」 研究紀要「大阪の理科教育」発行</li> </ul>
○ 教員の資質向上と理科指導力向上のために、研修会を実施した。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月 21 日……「電気の授業で活かせる理科教育セミナー」参加者 40 名</li> </ul>

- ・ 8月22日……化学実験の基礎講座 参加者23名
- ・ 10月10日……プログラミング実技研修会 参加者19名
- ・ 12月26日……岩石野外研修 参加者10名

○ 大阪市内の各校が、理科学習内容の定着度を診断し、授業改善する活動を支援するため、評価問題集「理科のしんだん」を学期毎に作成し、6月・11月・2月に大阪市立小学校全校に配付した。

○ 児童・教員の科学研究への関心向上・技能向上のため、9月7日に児童科学自由研究作品検討会を開催し、優秀作品にコメント入り賞状を配付した。また、10月21、22日の「化学の日 子ども化学実験ショー」に出展し、約500組（親子）の参加があった。

○ 副読本「おおさか環境科」の編集や「理科観察実験充実プロジェクト」に協力した。「小学校理科新任教員研修」「小学校理科研修」「教育課程研修会」に協力した。「学習指導基本研修会（理科）」を実施した。

**5 成果・課題：申請書に記載した検証方法に基づいて取組を分析し、具体的に記載してください。**

○ 子どもが主体的・協働的に問題を解決していく学習活動を基盤として、特に「対話的な学び」の学習場面を充実させるための授業改善の具体的な手立てを明確にすることができた。そして、授業改善を図るための指導案を作成することを通して、教員の指導力量の向上が図れた。

○ 理科授業の改善のための実践的研究の成果を公開授業・研究発表・討議会の機会を2回設けて発信した。のべ360名の参加者があり、参加者から非常に高い評価が得られた。アンケート各質問項目の「とても思う」「少し思う」の割合を以下に示す。

- ・ 本日の授業で、子どもが主体的な学びができていたと思いますか。……98%
- ・ 本日の授業で、子どもが協働的な学びができていたと思いますか。……98%
- ・ 本日の授業は、今後の理科の授業を行う上で参考になったと思いますか。……97%
- ・ 本日の研究発表は、今後の理科の授業を行う上で参考になったと思いますか。……96%
- ・ 今後も、大阪市小学校教育理科部の公開授業に参加したいと思いますか。……95%

○ 11月の公開授業には兵庫教育大学教授に指導講評をしていただき、2月の公開授業には文部科学省調査官に指導講評・講演をしていただいた。新学習指導要領に向けての取り組みのポイントをわかりやすく解説する内容であり、大いに参考になった。参加者からも高い評価が得られた。アンケート質問項目の「とても思う」「少し思う」の割合を以下に示す。

- ・ 本日の講演会は、今後の理科の授業を行う上で参考になったと思いますか。……95%

○ 評価問題集「理科のしんだん」を学期毎に作成して大阪市立小学校全校に配付することで、各校の理科学習の理解度到達度診断を実施し、授業改善に活かしてもらうことができた。

○ 1年間の研究の取り組みをまとめた研究紀要「大阪の理科教育」を、2月の公開授業参加者331名に配付し、各教員・各校の理科指導力向上に役立ててもらった。

○ 実技研修会は教員の資質向上・理科指導力向上に役立つ実際的な内容で開催することができた。どの研修会も、日々の理科学習指導に役立つ内容だと好評であり、アンケート質問項目の肯定的評価はどの回も95%以上であった。

○ 会場校の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目で、「とても思う」「少し思う」が88%であり、大変高かった。また、3～6学年の理科の標準化得点は、昨年度109、今年度108であり、1ポイント下がったが、高いレベルを維持した。

**6 研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。**

日程：平成29年11月15日 場所：平野西小学校 参加者数：29名  
 日程：平成30年2月2日 場所：滝川小学校 参加者数：331名